

令和 6 年度経営評価（令和 5 年度事業）からの評価基準等の見直しについて

これまでの経営審議委員会での 御意見等	令和 6 年度からの見直しの方向性
・目標に対する達成状況の中で、特に優れている数値や、100%以上となったものは、色を付ける等、アピールしてもよいのではないかな。	・これまでの A 評価の中には、目標どおり達成したものと、目標以上に達成したものが存在していたことから、目標以上（100%以上）に達成したものについては、アピールできるように評価基準の見直しを検討する。
・取組項目評価について、ほとんどが A 評価であり、B 評価の取組は工事の進捗の遅れとなっている。市民のために目指すべきところを考え、そこに向けての達成状況について評価すべきではないかな。	・取組項目評価の基準については上記の見直しも含めて検討する。 ・数値目標なしの評価基準について、市民サービスやコスト意識等を踏まえた評価となるように見直しを検討する。
・数値目標と取組項目評価の間で整合性が取れていないのではないかな。	・数値目標と取組項目評価の関係性を整理し、評価基準に反映できるように検討する。
・単年度目標とプラン目標それぞれに対する達成度合が分かりにくいので、後期 5 箇年では分かりやすく示すべきである。	・単年度の目標に対する評価を基本としつつ、プラン目標に対する評価についても、市民にわかりやすい形で伝えるよう工夫する。